

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策研修会

～新型コロナウイルス感染症施設内発生時の
対応と日ごころからの備え～

令和3年10月12日(火)
二州健康福祉センター

新型コロナウイルス陽性が判明した時の流れを
事例を通して動画で学べます。ぜひ施設
内研修でご活用ください！



二州健康福祉センター

⇒ 新着情報

⇒ 「新型コロナウイルス感染症対応研修会の動画を
配信しています。」を**クリック!!**

福井県 | サイトマップ | お問い合わせ | 個人情報保護 | 検索

暮らし・環境 | 医療・福祉 | しごと・産業 | 観光・文化 | 教育・子育て | 地域づくり

ホーム > 新着情報一覧 > 地域福祉課 > 二州健康福祉センター

地域福祉課

額南振興局 二州健康福祉センター

最終更新日 2024年7月28日 | ページID 0016085 | 印刷

新着情報

●新型コロナウイルス感染症対応研修会の動画を配信しています。[2023年5月21日]

業務内容

令和2年度
新型コロナウイルス感染症対策研修会
～時系列に沿った対応の流れと
具体的な蔓延防止対策を理解する～

令和3年3月20日(土)
14時～15時30分
二州健康福祉センター
二州保健所長と疫学調査/感染対策チーム

職員の新型コロナ陽性が判明した時の事例を通して考えていきましょう。

敦賀市内にサザエさん一家が住んでいます。
皆さんはサザエさんが**介護士**として働いている社会福祉法人ほたて会かもめ荘（特別養護老人ホーム）の職員です。

今回は、

- ①**濃厚接触者として職員が検査を行った結果、陽性が判明した場合**
- ②**施設内で複数の陽性者が発生した場合（クラスターが発生した場合）**

どのような流れになるのか、普段からどのような準備をしておかなければいけないかを考えてみましょう。

3

事例を通して考えてみましょう

サザエさん一家をご紹介します。

敦賀市あさひが丘町に、フグ田家と磯野家が2世帯で住んでいます。



フグ田家

マスオ（28歳）海山商事勤務
サザエ（24歳）かもめ荘 介護士
タラオ（4歳）カモメ保育園年中

磯野家

波平（54歳）大浪運輸勤務
フネ（52歳）主婦
カツオ（11歳）カモメ小学校5年生
ワカメ（9歳）カモメ小学校3年生

4

事例を通して考えてみましょう

- ・10月5日15時マスオさんの新型コロナウイルス抗原検査陽性が判明。
- ・同日19時マスオさんのPCR検査陽性が判明し、サザエさんは濃厚接触者となりました。
- ・翌日10月6日にPCR検査を実施しました。検査の結果は…

5

事例を通して流れをみてみましょう

①職員が陽性になった場合

10月7日

濃厚接触者として検査を受けた職員(サザエさん)が検査の結果陽性が判明した場合

6

積極的疫学調査

- ・サザエさんから職場にPCR検査の結果が陽性だったとの連絡が入りました。
- ・また、施設の窓口となる人から二州保健所に連絡してほしいとも言われました。



積極的疫学調査

サザエさんの行動を確認したところ、PCR検査日(10/6)までは特に症状はありませんでした。そのため、**感染可能期間は検査日の2日前の10月4日**から重点的に調査が行われました。

※感染可能期間とは接触のあった人にウイルスをうつしてしまふ、感染させてしまふ可能性のある期間(発症日の2日前)であり、無症状の場合は検査日から2日前が感染可能期間となります。

積極的疫学調査

| 発症日より | 日付 | 場所 | 接触者 | マスクの有無 |
|-------|-----------|--|--|-------------------------------|
| 2日前 | 10/4 月 | 8:30 仕事(車通勤・1人で10分ほど運転) ・日勤(9:00~18:00) ・職場の休憩室で食事(13:00~14:00) 18:15 退勤 18:30 ショッピングセンターで買い物 19:10 帰宅 | 職場の職員と 入所者 同僚2人 | 職員有・利 用者無 昼食時無 有 |
| 1日前 | 10/5 火 | 8:30 仕事(車通勤・1人で10分ほど運転) ・日勤(9:00~18:00) ・職場の休憩室で食事(12:00~13:00) 15:00 マスオさんから抗原検査で陽性となっ たかもめ荘に連絡が入る。 15:30 保健所の指示に従い、タラちゃんを 保育園に迎えに行き帰宅。 | 職場の職員と 入所者 同僚1人 保育園の担任 の先生 | 職員有・利 用者無 昼食時無 有 |
| 当日 | 10/6 水 | 自宅で過ごす *濃厚接触者となりPCR検査を受検 | 家族 | 有 |
| 1日後 | 10/7 木 | 自宅で過ごす *PCR検査結果 陽性判明 | 家族 | 有 |

積極的疫学調査（施設より聞き取り）

- ・サザエさんからPCR検査陽性の連絡をもらった
かもめ荘の湯水施設長は、すぐに保健所に連絡
しました。
- ・保健所からは「サザエさんの詳しい勤務状況や、
職員と入所者との接触状況等を把握したいので、
すぐに次のスライドの資料を用意し、保健所に来て
ください。」
と言われました。
- ・湯水施設長は、職員で手分けして指定された資料
を用意し、すぐに伊佐坂副施設長と保健所に向か
いました。

施設に確認すること・準備する資料

- ・施設概要、職員数、入所者数、嘱託医、平面図、行事予定表、更衣室・休憩室の広さ等（サザエさんが使った時間）
- ・10月4～6日間の勤務表（氏名、年齢、基礎疾患、症状の有無、連絡先等）
- ・サザエさんの業務内容、動線
- ・施設内でのマスク着用の有無、換気、消毒等感染防御の状況

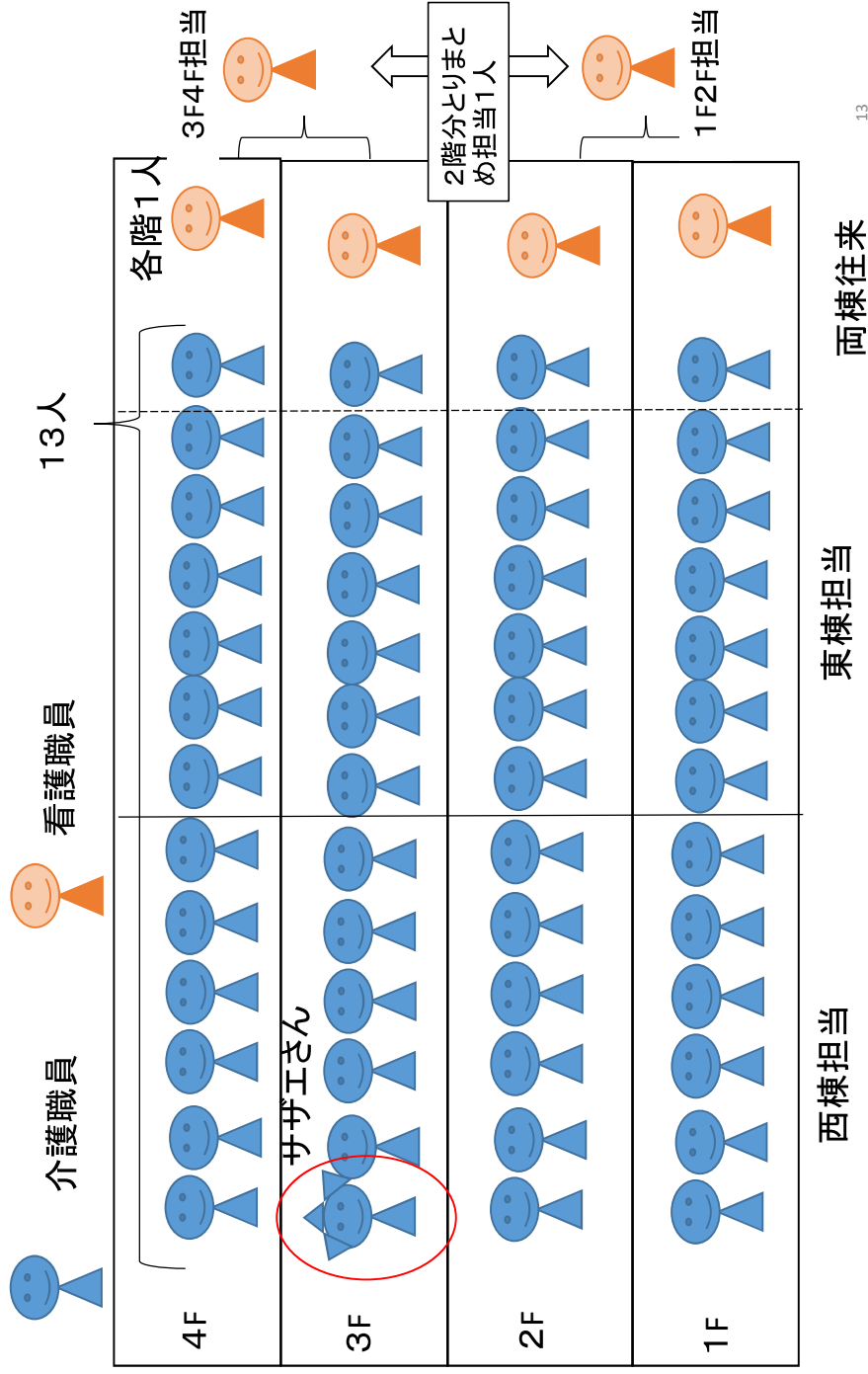
11

積極的疫学調査（施設概要）

- ・施設は4階建て
 - ・東棟と西棟に10部屋ずつの個室（ユニット型）
 - ・入所定員は80名
 - ・職員数は介護職員52名、看護職員6名、事務職員5名、その他職員（生活相談員、給食職員等）7名
- 計70名

12

積極的疫学調査（職員数）



13

積極的疫学調査（施設概要）

・かもめ荘の介護士の勤務は以下のとおり

早 出 7:00～16:00

日 勤 9:00～18:00

長夜勤 17:00～翌7:30

夜 勤 22:00～翌9:30

・夜勤は東西のユニットを往来する。

・協力医療機関はかもめ病院

14

積極的疫学調査（業務内容）

介護職員の業務内容は下記のとおり。日によって担当業務は変更する。

早出・日勤

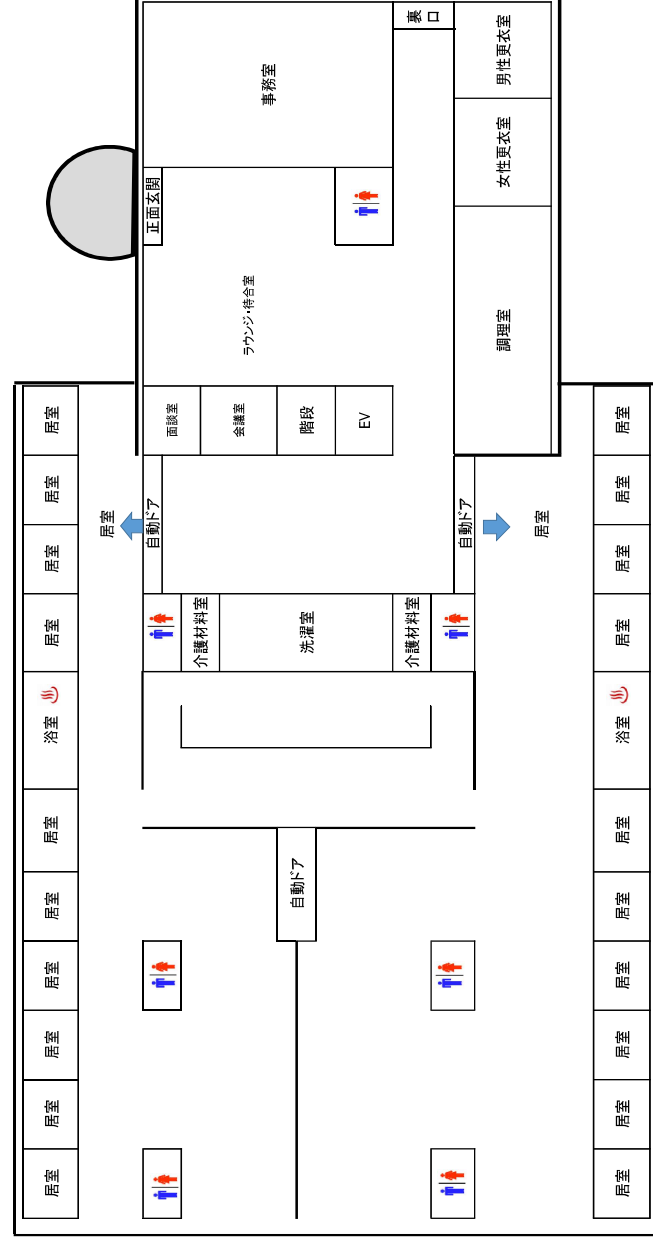
- ・食事介助(昼タ・おやつ)、排せつ介助、移動介助、口腔ケア、入浴介助、レクリエーション・行事活動等

長夜勤

- ・食事介助(夕)、排せつ介助、巡視、検温等
- 夜勤・早出
- ・食事介助(朝)、巡視(体交・排せつ介助)等

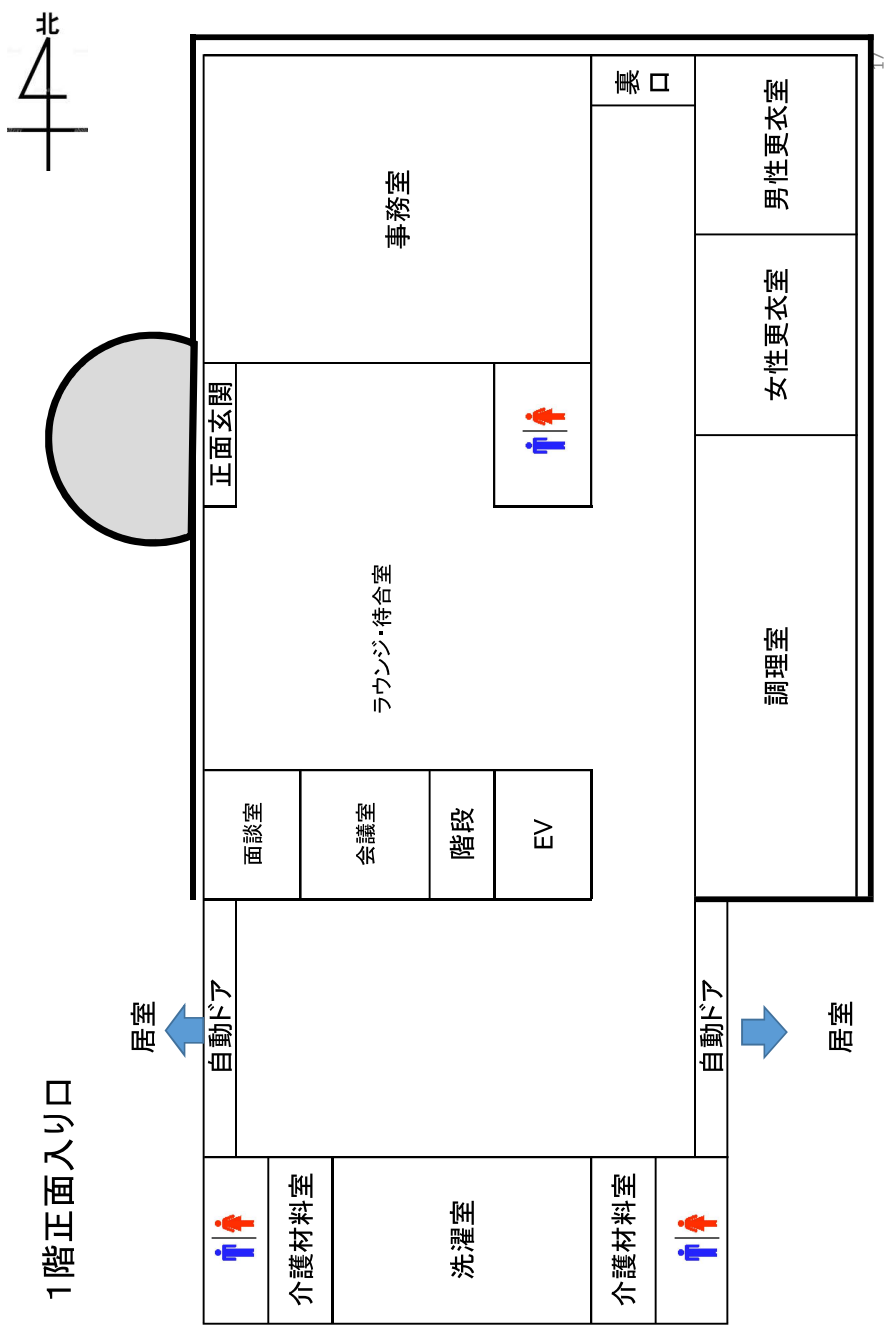
15

積極的疫学調査（施設全体図）

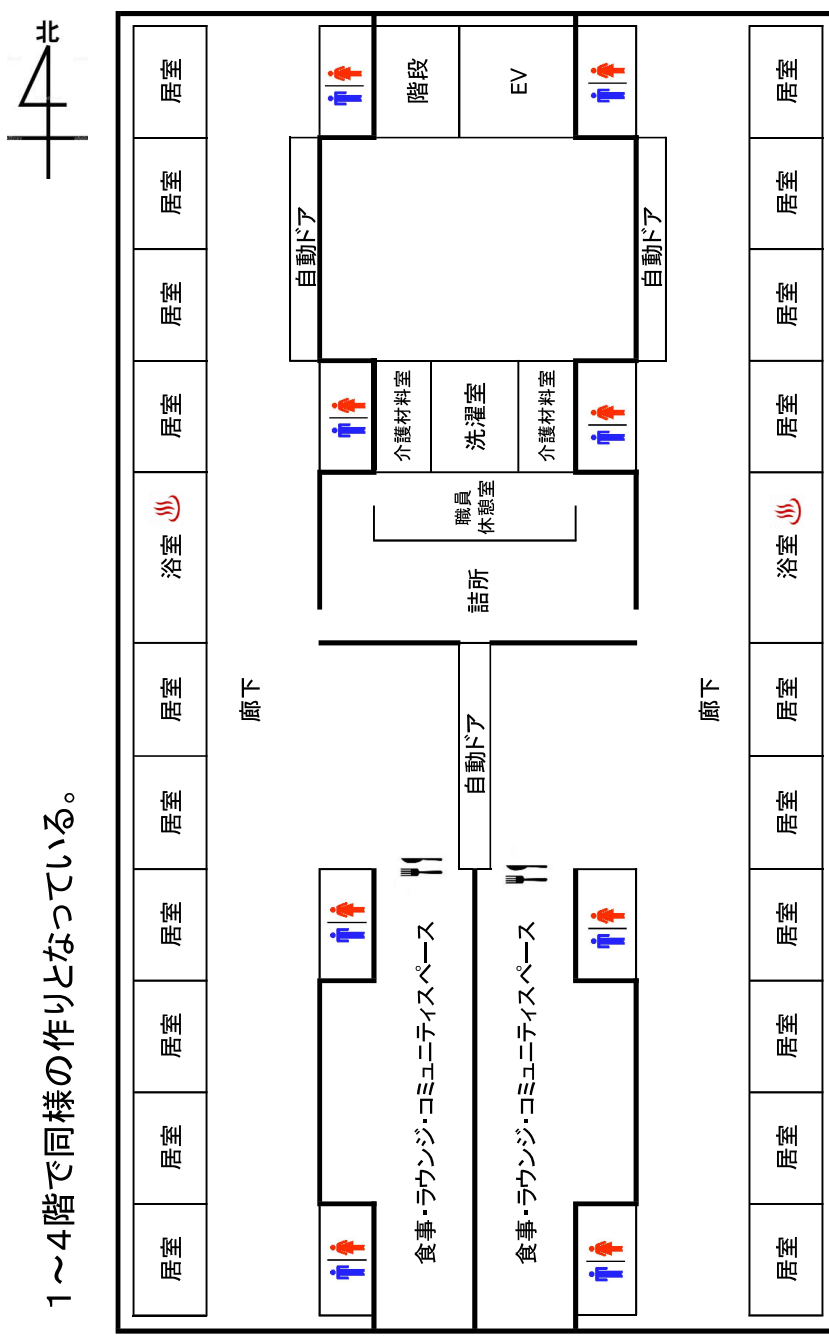


16

積極的疫学調査（平面図）



積極的疫学調査（平面図）



積極的疫学調査（勤務表）

| | 10月4日 | 10月5日 | 10月6日 |
|--------|-------|-------|-------|
| フグ田サザエ | 日勤 | 日勤 | 有休 |
| A | 早出 | 長夜 | 明 |
| B | 日勤 | 日勤 | 日勤 |
| C | 早出 | 休 | 早出 |
| D | 休 | 早出 | 夜勤 |
| E | 早出 | 休 | 休 |
| F | 明 | 休 | 休 |
| G | 休 | 夜勤 | 長夜 |
| H | 夜勤 | 休 | 日勤 |
| I | 長夜 | 明 | 休 |
| J | 休 | 早出 | 早出 |
| K | 日勤 | 早出 | 日勤 |
| L | 早出 | 日勤 | 早出 |

早出7:00～16:00、日勤9:00～18:00、長夜17:00～翌7:30、夜勤22:00～翌9:30

積極的疫学調査（感染対策）

施設内の感染対策

- ①職員は出勤前に体温チェックを行い、裏口（職員入口）の体温チェック表に「体温と症状の有無」を記載
- ②出勤時には石鹸で手洗い、アルコール消毒を実施
- ③施設内では職員は常時マスク着用
- ④入所者のケアを行う際は必ず手袋を着用（一ケア一防護）
- ⑤一処置一手洗いの徹底
- ⑥排せつ介助等密接な介助を行う場合はマスク、手袋、を着用
- ⑦換気扇は常時つけている。窓は締め切らず、1時間に1回は必ず窓を全開に開放

積極的疫学調査（施設から聞き取り）

| 発症日より | 日付 | 場所 | 接触者 | その他 |
|-------|----------------------|-------------------------|-------------|-----|
| 2日前 | 10/4 月 | 8:30 仕事(車通勤・1人で10分ほど運転) | 同僚2名(A氏、B氏) | 有 |
| | | 8:40 女性更衣室で着替え | | |
| | | 9:00 詰所内で夜勤より引継ぎ | | |
| | 9:10 生活介助(西棟3階入所者) | 入所者5名 | → | |
| | 12:00 食事介助 | 3階入所者 ・中島氏 ・堀川氏 | | 無 |
| | 13:00 詰所内の休憩室にて昼食 | 同僚2名(A氏、C氏) | 有 | |
| | 14:00 生活介助(西棟3階入所者) | 入所者5名 | 無 | |
| | 17:45 詰所内で長夜勤に引継ぎ | 同僚1名(B氏) | | |
| | 18:00 業務終了 | | | |
| | 18:05 女性更衣室で着替え | | | |
| | 18:15 退勤 | | | |
| | 18:30 ショッピングセンターで買い物 | | | |
| | 19:10 帰宅 | | 有 | |
| | | | | 自宅無 |

積極的疫学調査（施設から聞き取り）

| 発症日より | 日付 | 場所 | 接触者 | その他 |
|-------|---|-------------------------|----------------------------------|-----|
| 1日前 | 10/5 火 | 8:30 仕事(車通勤・1人で10分ほど運転) | 3階入所者3名 ・石清水氏 ・加藤氏 ・山田氏 | 有 |
| | | 8:40 女性更衣室で1人で着替え | | |
| | | 9:00 詰所内で夜勤より引継ぎ | | |
| | 9:10 入浴介助(着脱介助) | 同僚1名(D氏) | 無 | |
| | 12:00 詰所内の休憩室にて昼食 | 入所者5名 | 有 | |
| | 13:00 生活介助(西棟3階入所者) | 湯水施設長 | | |
| | 15:00 「マスオさんが抗原検査で陽性となった」とかもめ荘に連絡あったことを、詰所内でサザエさんに説明。 | | → | |
| | 15:05 女性更衣室で1人で着替え | | | |
| | 15:10 退勤 | | | |
| | 15:30 保健所の指示に従い保育園にタラちゃんを迎えに行き帰宅し、自宅待機。 | | | |
| |以降自宅待機..... | | | |

積極的疫学調査（施設からの聞き取り）

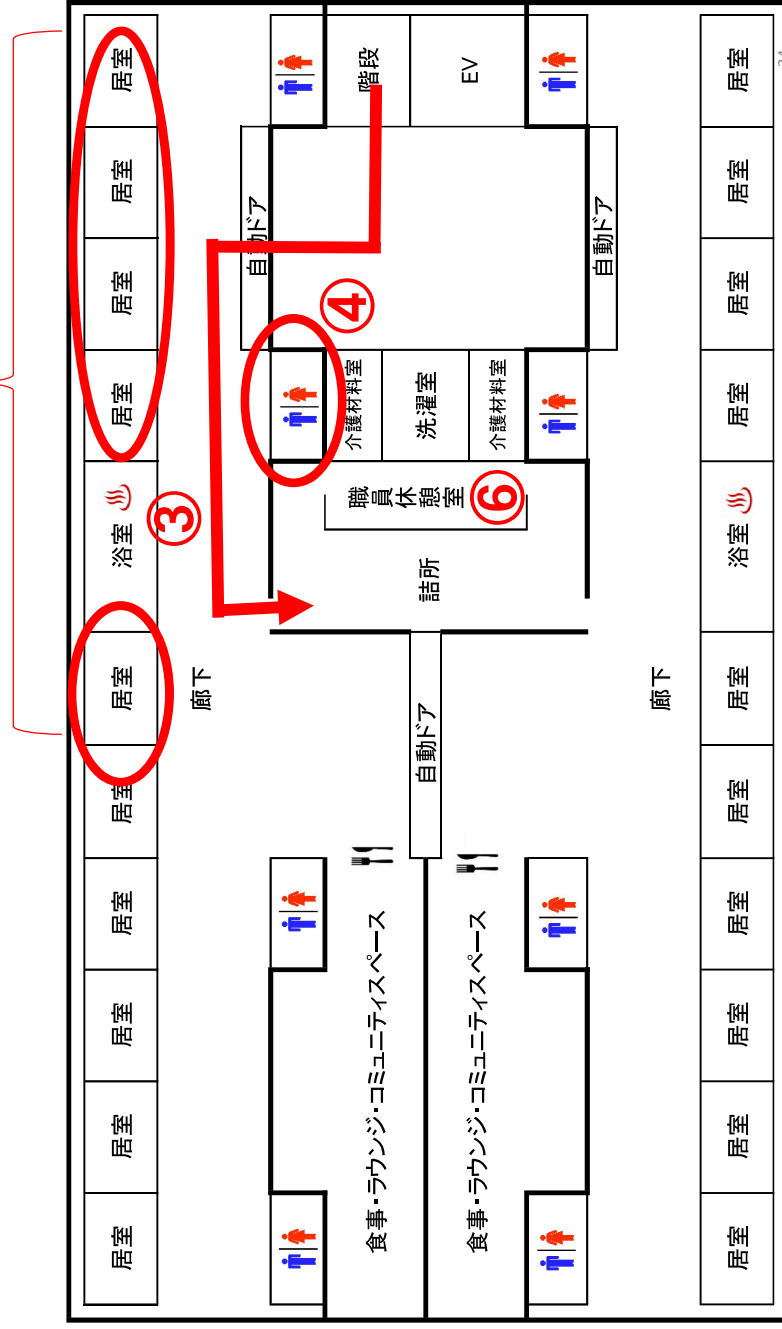
・サザエさんの動線



23

積極的疫学調査（施設からの聞き取り）

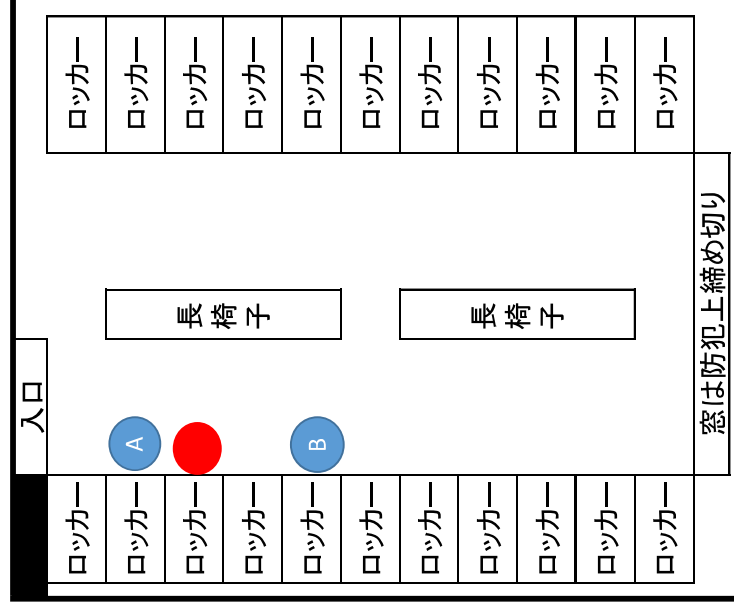
・サザエさんの動線



24

積極的疫学調査【更衣室（朝）の状況】 （サザエさんと施設からの聞き取り）

- 10月4日
 - ・サザエさんは朝8:40に出勤し更衣室で着替え。（10～15分）
 - ・更衣室は狭く、窓は防犯上常時締め切り。換気扇は常時運転。
 - ・マスクは着替え中は外していることもある。
 - ・お風呂介助のため着替えに来ていたA氏と日勤のB氏があり、喋りながら着替えていた。
- 10月5日
 - ・一人で着替えていた。

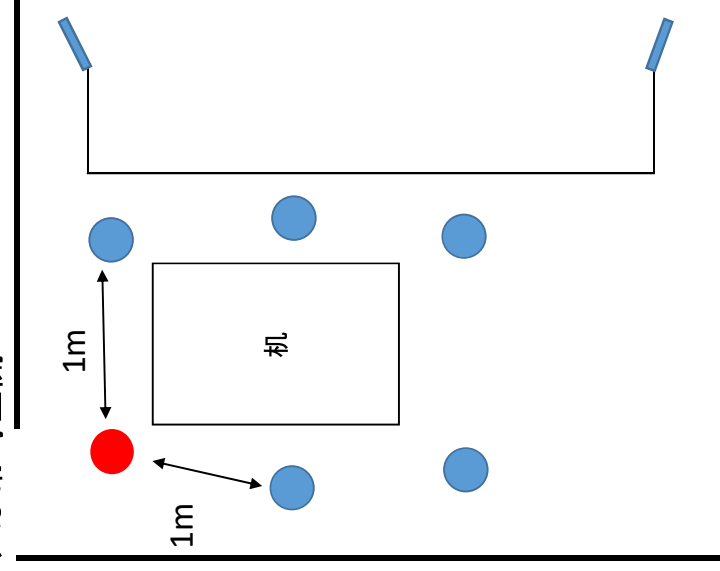


25

積極的疫学調査【引継ぎ（詰所内）の状況】 （サザエさんと施設からの聞き取り）

- ・夜勤から日勤、日勤から長夜勤への引継ぎは5～10分以内
- ・マスクは着用
- ・詰所のドアは常時全開
- ・サザエさんはほとんど発言していない。
- ・職員同士は1m程度離れている。

ドアは常時全開



ドアは常時全開

26

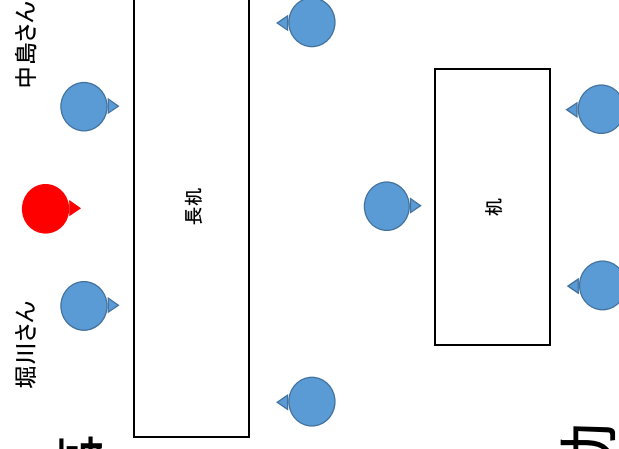
積極的疫学調査【生活介助の状況】 (サザエさんと施設からの聞き取り)

- 10月4日(9時～12時、13時～18時)
10月5日(13時～15時)
- ・コロナ対策でケアの時間は短時間としている。
- ・生活介助(体位変換、移動介助等)は5～10分以内
- ・排泄介助(おむつ交換)時はマスク、手袋を着用し、窓を開け、換気をした状態で5～10分以内(見守り介助5分以内)
- ・一処置一手洗いを実施し、利用者毎に手袋を交換している。

27

積極的疫学調査【食事介助の状況】 (サザエさんと施設からの聞き取り)

- 10月4日(食事介助)
- ・サザエさんの担当は中島さんと堀川さんの2人
- ・セッティングや見守り程度の食事介助。
- ・入所者のやや後ろに座り対面にはならなかった。
- ・窓を開け、十分な換気を行っていた。
- ・職員はマスク、手袋をつけて介助していた。



28

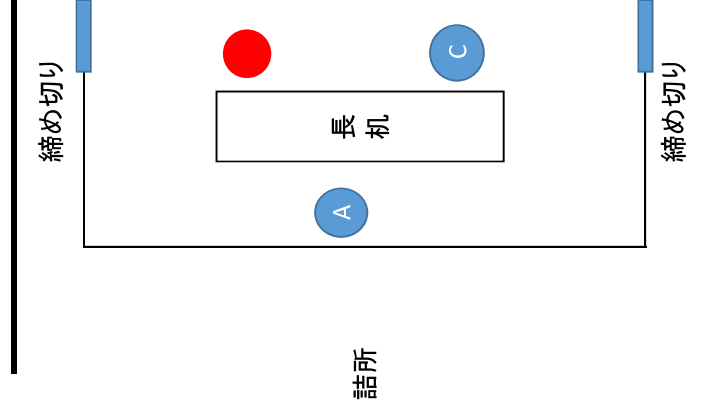
積極的疫学調査【入浴介助の状況】 (サザエさんと施設からの聞き取り)

- 10月5日 入浴介助(着脱介助)
 - ・サザエさんが担当したのは、石清水さん、加藤さん、山田さんの3人
 - ・脱衣室で衣類の着脱介助を担当
 - ・脱衣室は狭く、換気扇は回っているが窓やドアは締め切り。
 - ・脱衣室は暑く汗をかいてマスクがぐっつき息がしづらかったため、マスクを外していた。
 - ・衣類の着脱介助時は対面となり、距離も近い。

29

積極的疫学調査【昼休憩の状況】 (サザエさんと施設からの聞き取り)

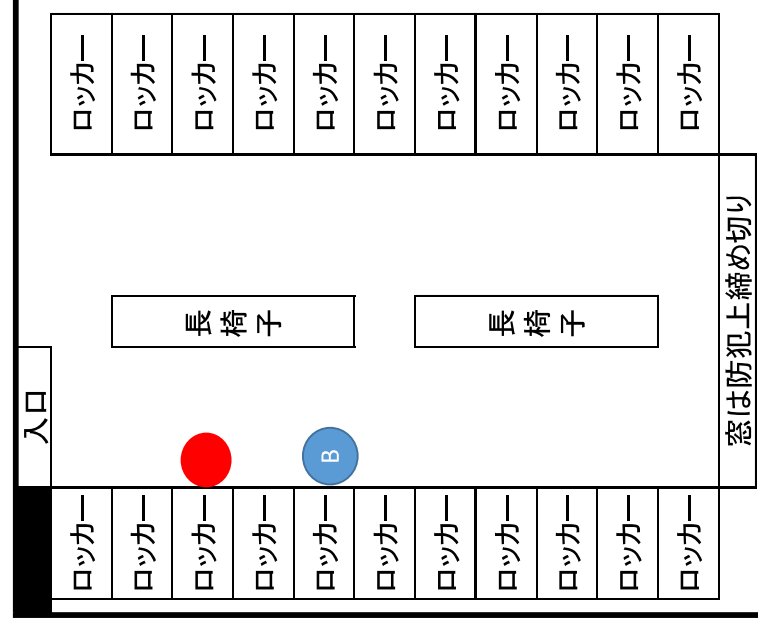
- 10月4日
 - ・サザエさんは持参したお弁当を詰所内の休憩室で食べていた。
 - ・同僚A氏とC氏と一緒に食事した。
 - ・黙食を指導されているため喋らないようにはしていたが喋っていた。
 - ・食事が終わった後はマスクをつけて、雑談をしていた。(食事時間も含めて1時間)
 - ・対面で座らないようにしていた。
 - ・休憩室には窓はなく入所者から見えないようドアは閉め切っていた。
- 10月5日(状況は前日と同様)
 - ・同僚D氏(前日A氏のところ)と一緒に食事を食べた。



30

積極的疫学調査【更衣室（夕方）の状況】 （サザエさんと施設からの聞き取り）

- 10月4日
 - ・サザエさんは夕方18:05に更衣室を利用（10～15分）
 - ・マスクは着けるようにしているが、着替え中は外していることもある。
 - ・B氏がおり、喋りながら着替えていた。
- 10月5日
 - ・一人で着替えた。



31

濃厚接触者の洗い出し

濃厚接触者の定義

- 「患者（確定例）」の感染可能期間（発症2日前～）に接触した者のうち、次の範囲に該当する者
- ・患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機等を含む）があった者
 - ・適切な感染防護なしに患者（確定例）を診察、看護もしくは介護していた者
 - ・患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
 - ・その他：手で触れることのできる距離（目安として1m）で、必要な感染予防策なしで患者（確定例）と15分以上の接触があった者

32

保健所が検討した結果

- (1) 更衣室を利用していた職員A、職員B
- (2) 食事を一緒に食べた職員A(再掲)、職員C、職員D
- (3) 入浴介助(着脱介助)した入所者の石清水さん、加藤さん、山田さん



職員4名と利用者3名を濃厚接触者としました。

33

課題①「自施設の職員が陽性になったと聞いたとき」

【考えてみましょう】

サザエさんは、感染可能期間に職場に出勤していました。

このように職員が感染可能期間に出勤していたことが判明した場合、

日頃からどのような情報をまとめたり、準備しておくことが必要でしょうか。



34

濃厚接触者の検査結果

10月7日濃厚接触者となった者のPCR検査を実施。
10月8日結果はなんとすべて陰性でした！！

- (1) 更衣室を利用していた職員A、職員B
- (2) 食事を一緒に食べた職員C、職員D

⇒職員はサザエさんとの最終接触から
2週間の自宅待機

継続的にサービスを提供するため、他施設からの職員の派遣等スタッフの確保、業務の見直しが必要！

35

濃厚接触者の検査結果

10月7日濃厚接触者となった者のPCR検査を実施。
10月8日結果はなんとすべて陰性でした！！

- (1) 更衣室を利用していた職員A、職員B
- (2) 食事を一緒に食べた職員C、職員D
⇒職員はサザエさんとの最終接触から
2週間の自宅待機
- (3) 入浴介助した入所者の石清水さん、加藤さん、山田さん

⇒では利用者は・・・？

36

課題②「自施設の入所者が濃厚接触者になったと聞いたとき」

【考えてみましょう】

施設内で入所者が濃厚接触者となった場合、接触者である入所者と濃厚接触者である入所者の生活区域を分ける必要があります。

施設内の汚染区域、清潔区域を
どのようにゾーニングしてケアを
行いますか。

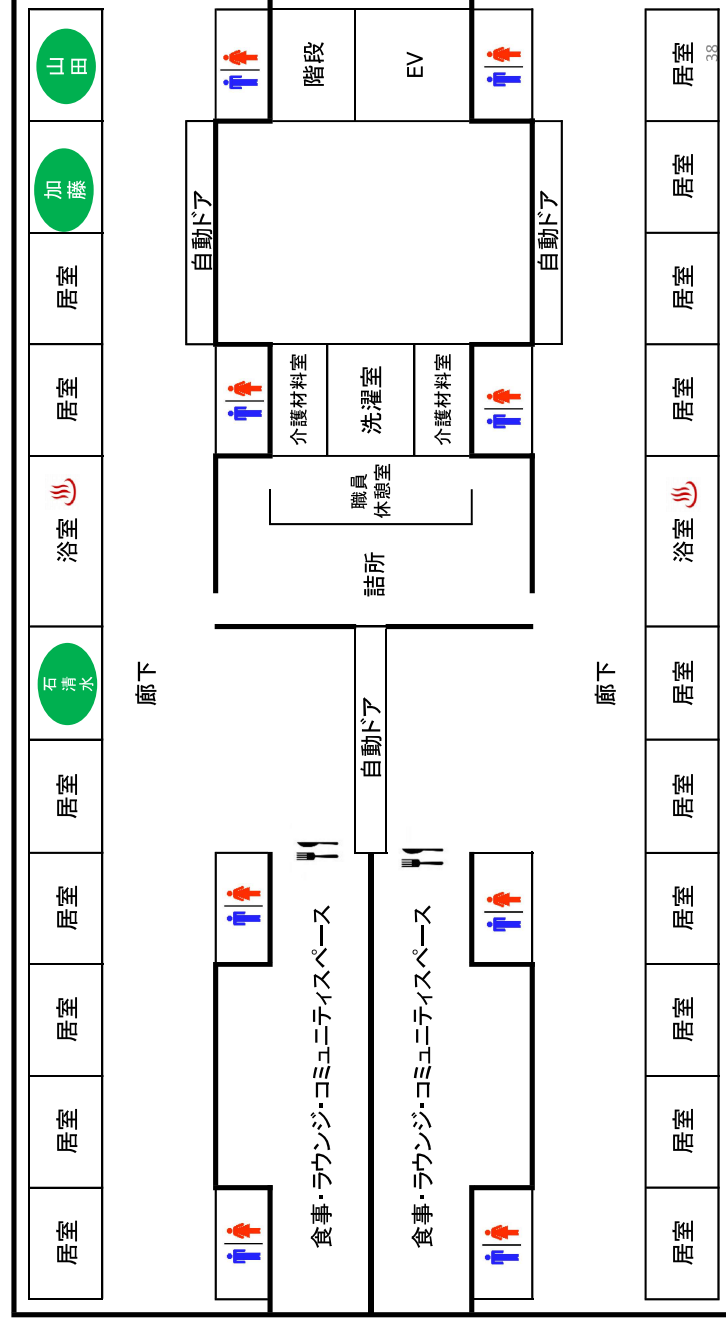


37

考えてみましょう！

濃厚接触者の居室は「●」の場所です。

レッドゾーン(汚染区域)、イエローゾーン(準汚染区域)等のゾーニングを考えてみましょう！



38

ゾーニングのポイント

- ・他の入所者（接触者）と交差しないようにトイレや浴室は固定（固定が難しい場合は使用時間で区切る（濃厚接触者を最後にして消毒する）
- ・濃厚接触者同士であっても可能な限りは個室管理（いつ、だれが発症するかわからないため）
- ・手すり等は次亜塩素酸もしくは濃度70%以上のアルコールで小まめに消毒する。

39

事例を通して流れをみてみましょう

②施設内で複数の職員や入所者が陽性になった場合

10月8日

施設内で複数の職員と入所者の陽性が判明しました。

事例を通して流れをみてみましょう

10月7日

濃厚接触者および接触者となった以下の者のPCR検査を実施

濃厚接触者

- ・職員A、職員B、職員C、職員D
- ・3階西棟入所者の石清水さん、加藤さん、山田さん

接触者

- ・3階西棟職員（濃接除く、看護職員含む）9名
- ・3階西棟入所者（濃接除く）7名

41

事例を通して流れをみてみましょう

10月8日に結果判明

(1) 職員A、B⇒**陽性** 職員C、D⇒陰性

(2) 石清水、加藤⇒**陽性** 山田⇒陰性

(3) 3階職員9名(介8名、看1名)⇒陰性
3階西棟入所者 3名⇒**陽性** 4名⇒陰性



職員3名、入所者5名も陽性に…

対策本部の立ち上げ

10月8日

複数の職員および入所者の陽性結果を受け、二州保健所より以下のとおり連絡が来しました。

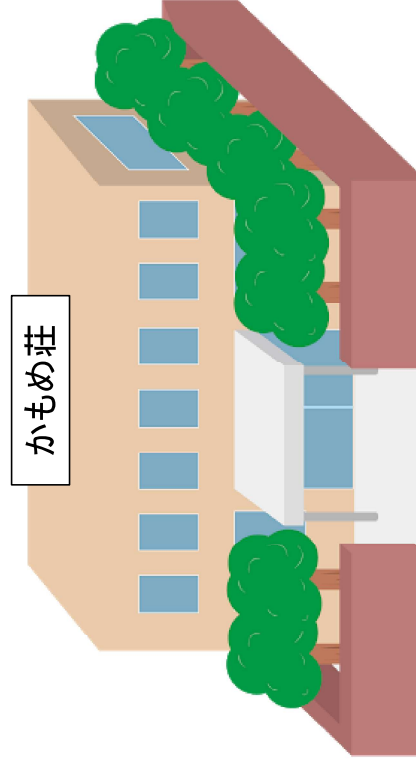
「かもめ荘で複数の陽性患者が発生しています。これから施設内のゾーニングや職員および入所者すべての検査を行う必要があります。すぐに保健所職員がそちらに向かいますので対策本部を立ち上げる準備をしてください。また、入所中の陽性者は動かさず保健所の到着を待ってください。」

対策本部の立ち上げ

- ・対策本部のヒトの確保
(嘱託医、施設長、施設内の感染管理責任者、介護職員
リーダー、事務職員等)
- ・対策本部となる場所の確保
- ・対策本部に設置するモノの確保
(机、椅子、ホワイトボード、電話、パソコン、
ファクシミリ、コピー機、メモ用紙、筆記
用具、テレビ等)

対策本部の立ち上げ

- ・対策本部は1階の「ラウンジ・待合室」に設置
- ・医師（嘱託医）については、協力医療機関のかもめ病院に連絡したところ、石原医師が現場に駆けつけてくれました。

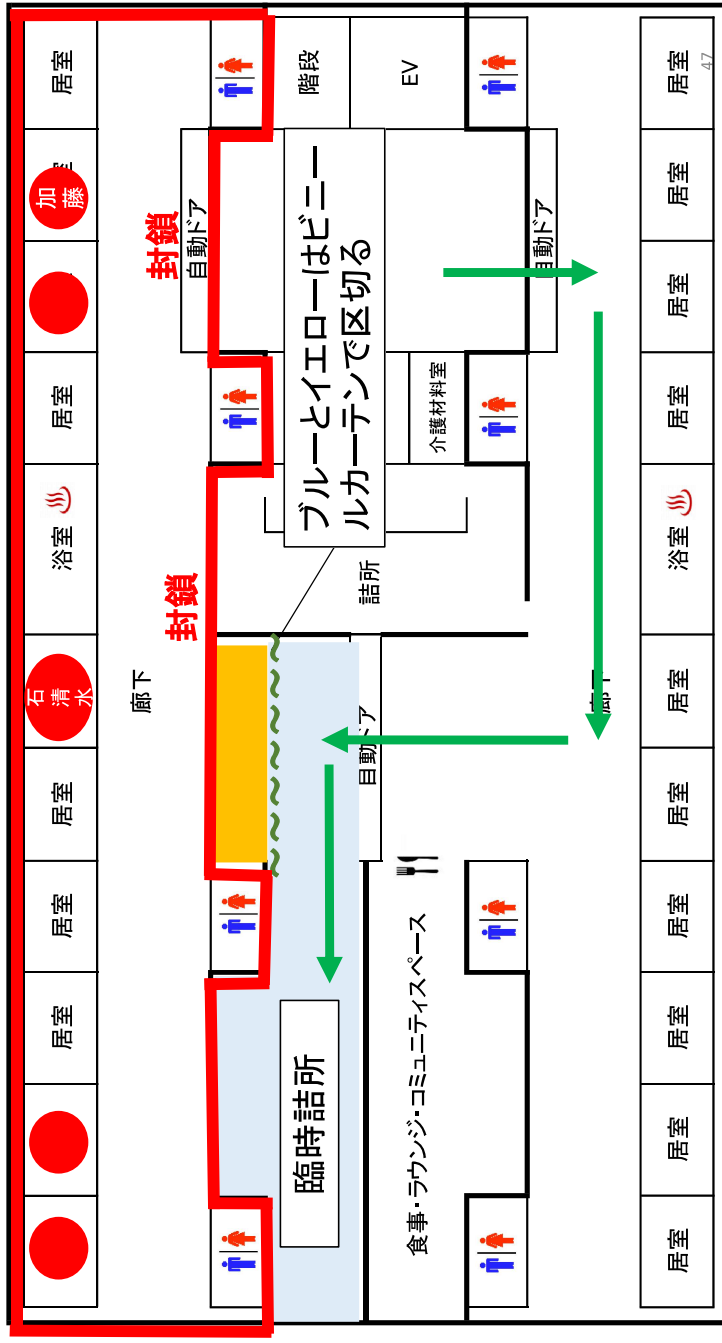


対策本部の立ち上げ

- 10月8日
- ・1時間後、二州保健所の保健所長（医師）と保健所職員が数名到着
 - ・湯水施設長は保健所職員に陽性者の発生場所を説明し、まずは施設内のゾーニングを検討
 - ・すでに3階西側利用者10名のうち5名が陽性となっています。

施設内のゾーニング

陽性者の居室は「●」の場所でした。
ユニットの西側と東側の入所者の移動はないとのことだったので、西側すべてをレッドゾーン(汚染区域)としてゾーニングしました。



検査

10月8日

・ゾーニングが終わった後、複数の入所者および職員の陽性を受け、残りのかもめ荘の入所者70人および職員56名の検査を実施

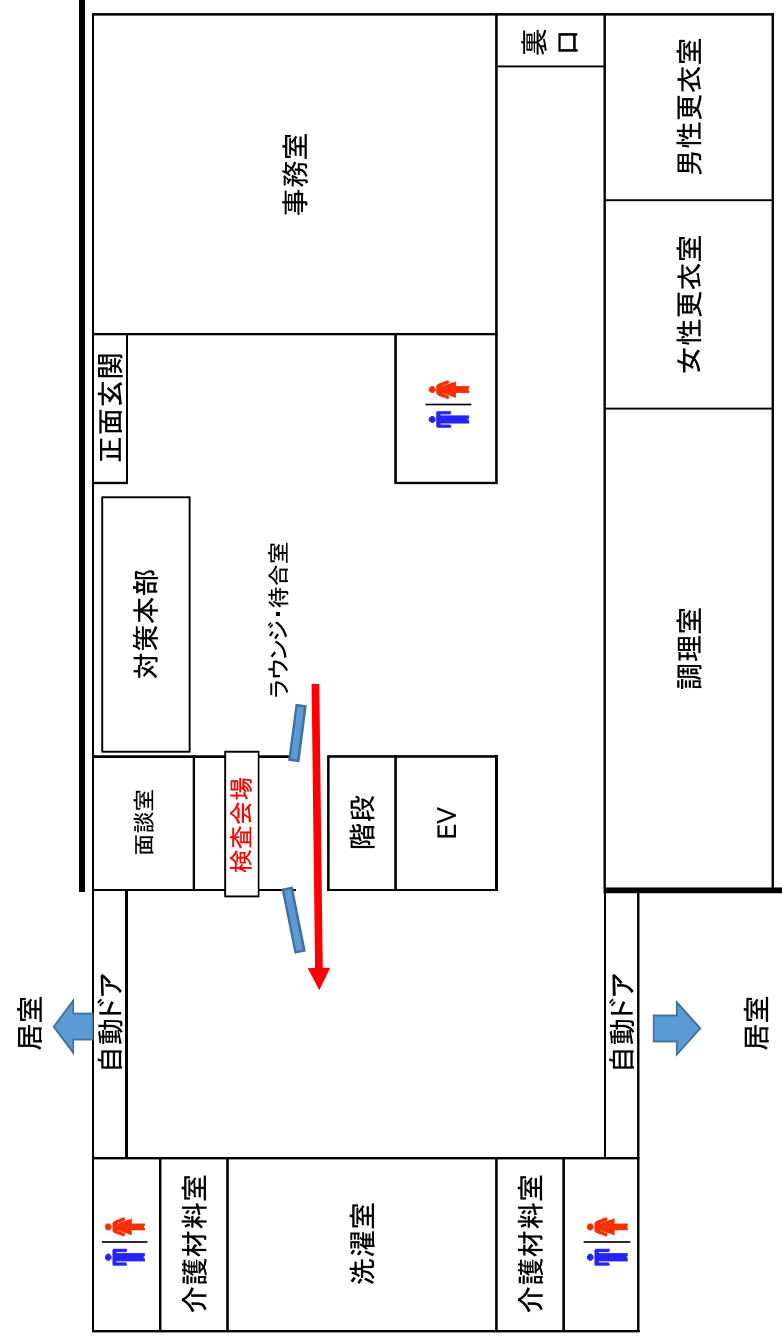
・職員、入所者の大人数の検査や移動が困難

⇒ 施設内でPCR検査

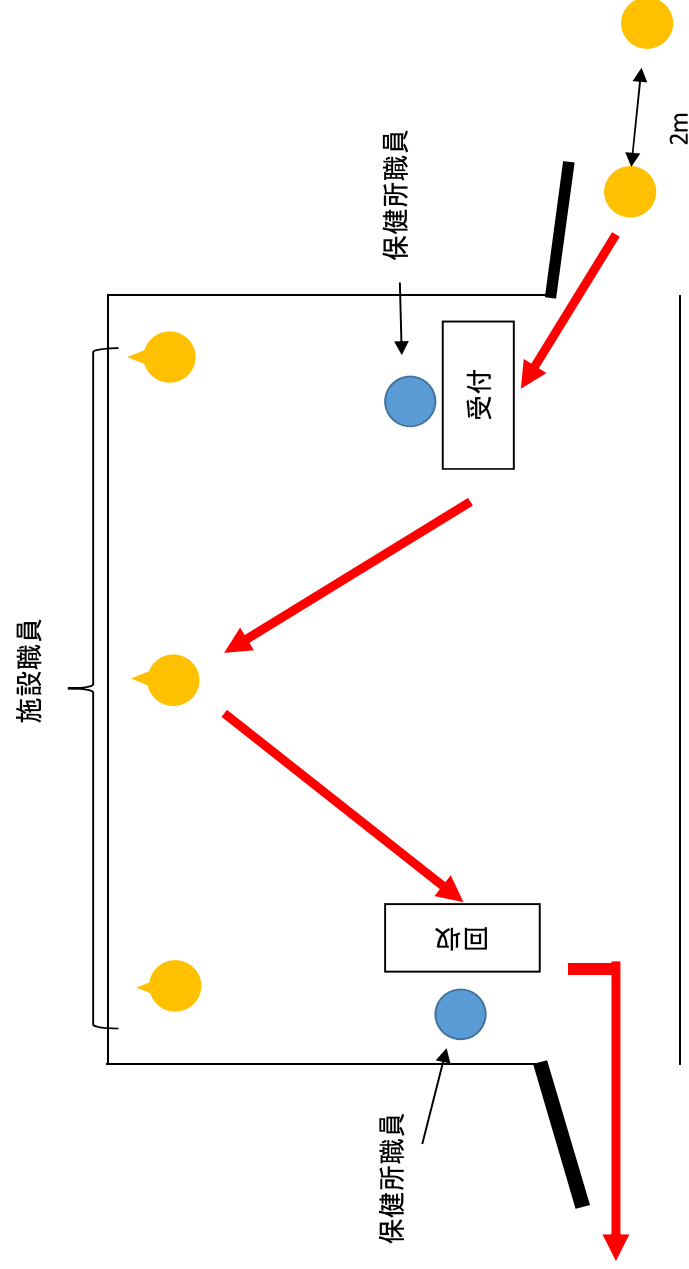
検査（職員）

- ・職員は10月8日に唾液採取で検査を行うこととしました。
- ・検査会場は1階の会議室とし、保健所職員2名が受付と回収を行いました。
- ・会場内は密にならないよう、20分間隔で10名ずつ行い、入室は3名までとし、壁を向いて唾液を採取
- ・会議室の外で待つ際も十分な間隔を保って待っていました。

検査

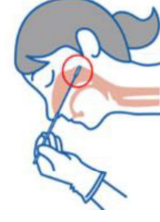


検査会場内



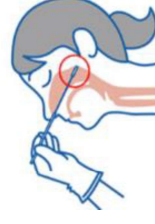
検査（入所者）

- ・入所者は唾液採取が困難だったため、鼻咽頭ぬぐい液での検査としました。
- ・入所者の移動を最小限に留めるために検査は各個室で実施
- ・嘱託医の石原先生が各個室を回り、鼻咽頭ぬぐい液を採取
- ・10月8日に残りの全ての入所者計70名の検体採取を実施



検査（入所者）

こちらは当管内の某施設で実施した鼻咽頭ぬぐい液の採取の状況です。



濃厚接触者の同定

10月8日

保健所が今回陽性となった3階の職員2名と入所者3名の行動調査、施設内の行事等の疫学調査を行い、施設内の濃厚接触者を以下のとおり同定

濃厚接触者

- (1) 3階利用者5名（陽性者5名除く）
- (2) 3階職員11名（陽性者3名除く）

※看護職員1名含む

濃厚接触者の同定

- ・湯水施設長は保健所の指示に従い、3階職員11名(看護職員1名含む)を出勤停止とし、自宅での待機を命じました。

- ・3階利用者5名については、利用者の家族に連絡し、濃厚接触者となった旨を伝えました。

介護職員等の確保

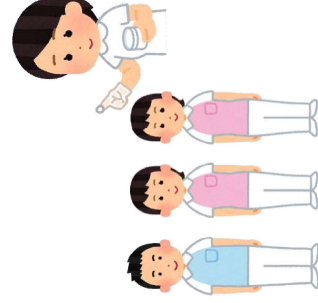
10月9日

3階職員11名の出勤停止により、施設内の看護・介護職員が不足

湯水施設長は同法人のかもめ病院長、第2かもめ荘とうみねこ荘の施設長に連絡し、看護職員、介護職員、事務職員の派遣を依頼。以下の条件で派遣が決定

- かもめ病院(看護師1名)
 - 3階以外の入所者の看護
- うみねこ荘(介護職員3名)
 - 3階以外の入所者の介護
- 第2かもめ荘(事務職員2名)

書類作成事務



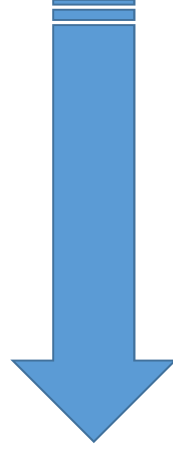
介護職員等の確保

法人内での派遣だけでは人員が不足。
県長寿福祉課に連絡し介護職員等の
派遣を依頼

「感染症発生時における職員の派遣に
関する覚書」に基づく派遣



長寿福祉課



シフト・業務の見直し

また施設長は、限られた職員で継続
的に入所者にサービスを提供できる
よう、介護職員リーダーと各ユニット
リーダーに介護職員のシフトの見直しと、提供可能なサービス、ケアの
優先順位と業務内容・手順の変更を
指示



(例: おむつの交換回数を減らせるよう
物品の変更、検温回数の変更等)

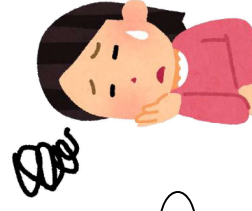
職員への感染対策指導

・湯水施設長は、複数の患者の発生および濃厚接触者の発生を受け、すべての入所者に対してマスク、手袋、ガウン、キャップ、フェイスシールドを着用し感染対策を講じた上でケアするよう指示しました。

・しかし、職員からは「自分も感染するかもしれないし、実際正しく着ることができるか不安である。」との声がありました。

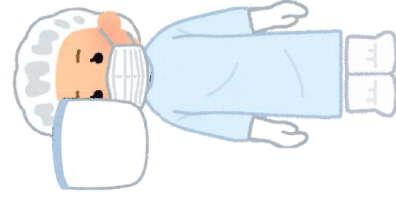


ちやんとできるか不安だ…



職員への感染対策指導

・そこで、10月9日に各ユニットリーダーの職員が保健所と県の感染制御チームに、正しい防護服の着脱方法と感染対策について指導を受けました。



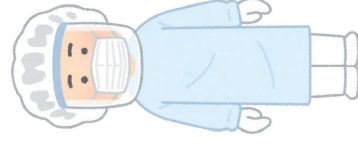
・各ユニットリーダーは自分のユニット職員に伝達し、指導された感染対策方法を守りながら、利用者のケアに臨みました。

職員への感染対策指導

- ・また職員がいつでも復習、確認できるよう、各フロアの詰所のテレビで正しい防護服の着脱方法についての動画を流し続けました。
(※防護服の正しい着脱方法は、二州健康福祉センターホームページに動画あります。ぜひご利用ください。)

- ・また不明な点や迷った場合は施設内の感染管理責任者に相談して対応しました。

- ・感染管理責任者も対応に迷う場合は保健所や感染制御チームに相談し指示を仰ぎました。



入院（搬送トリアージ）

10月8日

- ・入院先の調整に先立ち、嘱託医の石原先生は、入所当初から作成しているACPを基に、陽性者本人や家族に連絡し、DNAR(延命措置の希望)の有無を確認しました。

- ・続いて、県のクラスター対策医療チームが到着し、嘱託医と共に医療機関搬送の優先順位を決める搬送トリアージを行いました。

入院（入院先の調整）

【陽性者の状態】

石清水・・・SpO2=70%、O2=5ℓ、呼吸不全あり

加藤・・・SpO2=99%、O2=5ℓ、呼吸不全あり
(呼吸苦なし)

入所者A

入所者B
・・・SpO2=99%、無症状

入所者C

入院（入院先の調整）

【陽性者の状態】

石清水・・・SpO2=70%、O2=5ℓ、呼吸不全あり
⇒10月8日 ウミガラス病院

加藤・・・SpO2=99%、O2=5ℓ、呼吸不全あり
(呼吸苦なし)

⇒10月8日 カツオドリ病院

入所者A

入所者B
・・・SpO2=99%、無症状
⇒10月10日

入所者C
敦賀市内のウミスズメ病院

入院（入院までの施設療養）

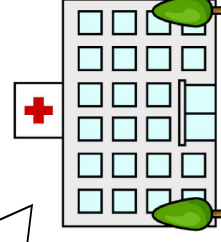
- ・無症状の陽性者については入院先が決まるまで、かもめ荘の個室にて療養
- ・石原医師およびクラスター対策医療チームが健康状態を観察
- ・すべての陽性者の入院先が決まるまでには3日程度の時間が必要でした。

情報共有

10月10日

すべての陽性患者の入院先が決まり患者を搬送することになりました。そして入院先の医療機関より以下のように連絡が入りました。

「陽性患者の入院にあたり、患者がどのよう
な介護が必要なのか等の詳しい情報が欲しい。」



情報共有

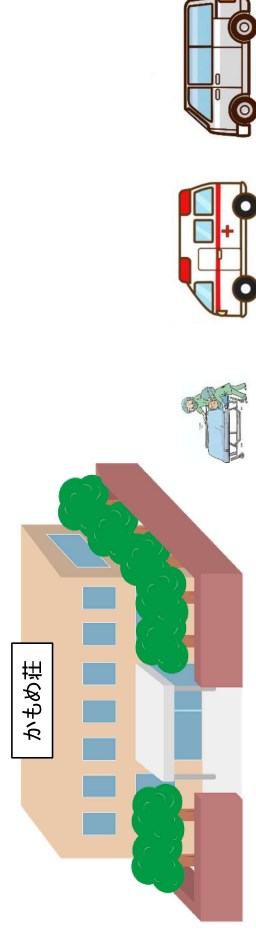
介護職員リーダーは日々の介護サマリーから以下の情報を抜粋し、**情報提供書(介護用)**を作成し、入院先の医療機関に情報提供しました。

【情報提供書】

- ・基本情報(氏名、年齢、性別、家族の連絡先、基礎疾患等)
- ・移動、食事、排せつ、口腔ケア、入浴、離床の介護度(自立、どのような支援が必要なのか具体的に)
- ・内服状況
- ・DNARについて
- ・その他医療機関が希望した情報

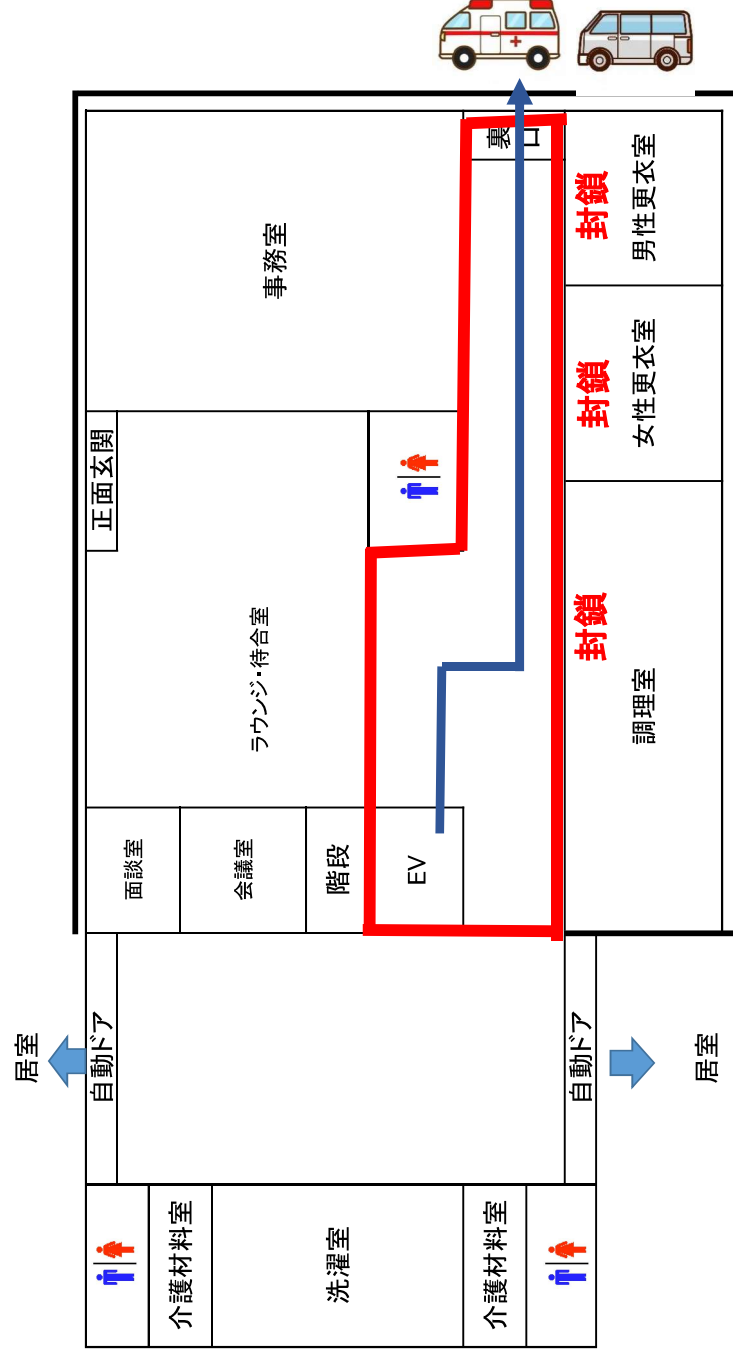
搬送

- ・続いて患者の搬送に伴い、外までの患者の動線について保健所と検討
- ・一階の裏口(職員玄関)を利用し、調理室と更衣室は封鎖
- ・搬送は救急車もしくは保健所の搬送車両を使用



搬送

以下のとおり一階をゾーニング



消毒

・保健所より施設内の消毒の指示あり。

【消毒液】

- ・0.05%に薄めた次亜塩素酸ナトリウム
- ・濃度70%以上のアルコール

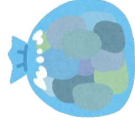
【消毒する場所】

- ・陽性者が触れた可能性のある場所（陽性者の居室内や搬送に使用した車いす、ストレッチャー等）
- ・よく手の触れる場所（手すり、トイレの蛇口、ドアノブ、お風呂等）

施設として必要になること

濃厚接触者等に対応できるよう次の準備を行いました。

- ・物品の確保
 - ⇒ 県の担当課に衛生材料、消毒液、防護具の供給を依頼
- ・食事の提供
 - ⇒ 業者に廃棄可能な容器の変更を依頼
- ・廃棄物の取り扱い
 - ⇒ 市町担当課と協議
- ・寝具、リネン類の取り扱い
 - ⇒ 施設内で一次消毒(80度10分)後、業者受け取り可
- ・職員の宿泊施設の確保
 - ⇒ 自宅に帰れない職員のために事前に協議していた「海林民宿」の1階(10室)を借り上げ
- ・職員のメンタルケア
 - ⇒ 感染の不安等からメンタルの不調を訴える職員へのケア。長寿福祉課が職員のメンタルケア体制を整備



実際、施設内でクラスターが起こったとき・・・

混乱

不安

トラブル

「平時からできる準備」をしておく！

課題③「自施設の入所者が複数陽性になり、病床の確保が困難だった場合や、病状等も考慮し入院のための移動が困難と判断されたとき」

【考えてみましょう】

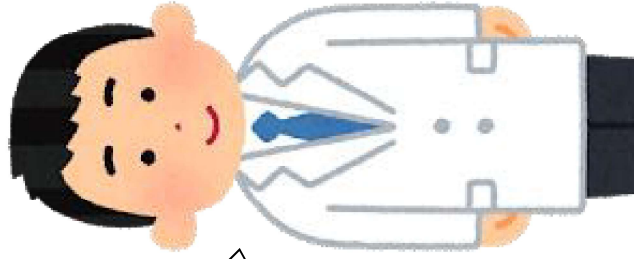
もし自分の施設内で陽性患者をケアする事態が発生した場合どのような支援があれば自施設でのケアが可能でしょうか。

- ・感染管理看護師や医療チームの派遣・・・？
- ・酸素配管（酸素ポンプ）や吸引器具等の医療物品の支給・・・？
- ・衛生材料、消毒薬等の物品の定期的な供給・・・？



もし自分の施設内で陽性患者をケアする事態が発生した場合に備えて、平時からどのようなことを検討しておかなければいけないのか。

保健所長（医師）から
アドバイス

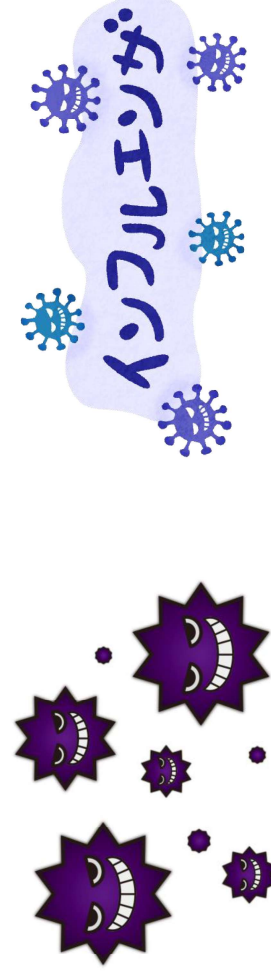


施設内で「有症状者が出たとき、
そしてクラスターが起こったとき」
の具体的な対応について

平時から考えておきましょう！



新型コロナウイルス感染症だけでなく、
感染性胃腸炎やノロウイルス、インフ
ルエンザ等が流行する時期となります。



施設内の感染症対策について

- 感染対策委員会等の設置
- 手洗い徹底（一処置一手洗いの徹底）
- マスク着用
- 環境消毒（イスの背もたれ、机、手すり等）
- 職員の健康観察、早期受診、自宅療養
- 施設内掲示
- 面会制限、シヨートステイ受け入れ中止
- 嘱託医への報告、相談
- イベントや他施設との交流を中止

関係機関への報告について

- 同系列の施設への連絡
- 主管課への報告
- 保健所への相談・報告について
 - 感染症・・・地域保健課
 - 食中毒・・・生活衛生課

報告基準

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について(H17.2.22厚労省通知)」

社会福祉施設等の施設長は、次の場合、市町村等の社会福祉施設等主管部に迅速に報告すると共に、保健所に報告し、指示を求めめるなどの措置を講ずること

- ア. 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる**死亡者又は重篤患者が1週間内に2名以上発生した場合**
- イ. 同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が**10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合**
- ウ. ア及びイに該当しない場合であっても、**通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合**

79

報告に必要な書類

- ① 感染症集団発生連絡票(様式1)
- ② 発症状況表(様式2)

※まずは第一報の電話連絡後に、各機関から FAX
またはメールで、送信をお願いします。

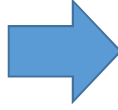
80

報告に必要な書類

発生連絡票
(様式1)



発症状況表
(様式2)



二州健康福祉センター(二州保健所)地域保健課あて
電話: 0770(22)3747 FAX: 0770(24)1205

感染症集団発生連絡票

| | | | | | | |
|--------|------|----|---|---|---|---|
| 連絡者氏名 | 連絡日 | 平成 | 年 | 月 | 日 | 時 |
| 施設名 | 電話 | | | | | |
| 住所 | FAX | | | | | |
| 施設長名 | 嘱託医名 | | | | | |
| 児童・生徒数 | 人 | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|--|
| 初発患者の発症日 | | 平成 | | 年 | | 月 | | 日 | |
| 主な症状 | | <input type="checkbox"/> 嘔吐 | <input type="checkbox"/> 嘔気 | <input type="checkbox"/> 下痢 | <input type="checkbox"/> 腹痛 | <input type="checkbox"/> 発熱 | <input type="checkbox"/> 咳 | <input type="checkbox"/> 発疹 | |
| <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | | | | |
| 学年・クラス | | 児童・生徒数 | | 発症者数 | | うち欠席者数 | | 入院者数 | |
| 児童・生徒 | | | | | | | | | |
| 発症状況(連絡日の状況) | | 合計 | | 職員数 | | 発症者数 | | うち欠席者数 | |
| <input type="checkbox"/> 職員(保健士・教員・事務・調理員等) | | | | | | | | | |

<様式2-1>

施設(学校)名 [] 発症状況表(利用者、児童)

| 氏名 | 性別 | 学年 (クラス) | 発症の状況 (発症時間、経過等) | 受診日 | 診断 | 7/30 | | 7/31 | | 8/1 | | 8/2 | | 8/3 | | 備考 |
|----|----|-------------|---------------------|-----|----|------|----|------|----|-----|----|-----|----|-----|--|----|
| | | | | | | AM | PM | AM | PM | AM | PM | AM | PM | | | |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | | | | | | | |

81

報告に必要な書類

二州健康福祉センター>地域保健課 様式

印刷

最終更新日 2018年6月6日 | ページID 028841

〇感染症集団発生時連絡様式(報告基準)

…保育園、学校、社会福祉施設等での感染症集団発生時の連絡様式

様式1: 発生連絡票

様式2: 発症状況表

おたよりひな形(インフルエンザ、胃腸がせ)

ひな形を掲載しています。
ご活用ください!

82

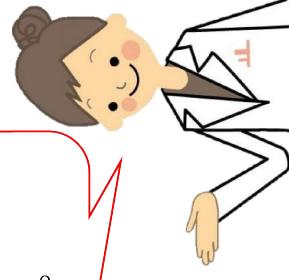
併せて、提出していただきたい資料等

- 施設平面図
- 行事予定表
- 献立表（過去1～2週間）

※必要に応じて

- 部屋・クラス別名簿
- 職員名簿
- 施設概要
- 周知関係物（玄関への掲示物、保護者へのお便り等）

保健所職員からこれらの資料の提出を依頼させていただくことがあります。事前に御用意ください。



拡がり状況は？

拡大した原因は？

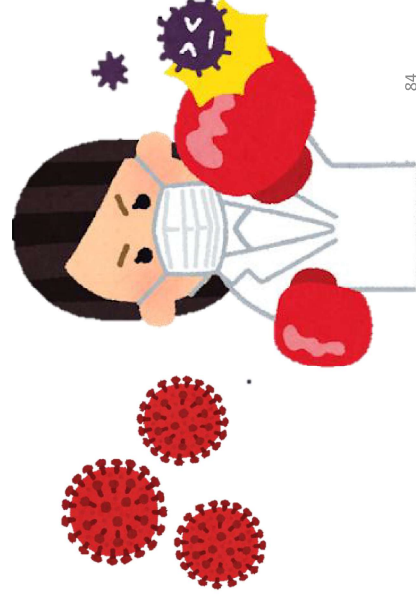
施設の対応状況は？

83

ノロウイルス等の感染症も

集団発生につながります。

今一度、**感染対策**の徹底を！



84